

村上議員（ひろしま刷新）

令和6年2月22日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）特別支援教育に関する専門性の向上について

特別支援教育に関する専門性の向上について、どのような取組を行っているのか、教育長に伺う。

（答）

障害のある子供の自立と社会参加を見据え、一人一人の教育的ニーズに最も的確に応える指導を提供するためには、特別支援教育の専門性を有する人材を確保するとともに、その専門性の向上に努めていくことが重要であると考えております。

通常の学級には特別な支援を必要とする児童生徒も在籍しており、今年度から、全ての学校におきまして、特別支援教育に係る校内研修の企画・運営などの役割を担う教員を対象に、570名程度の参加を得て、専門性向上のための研修に新たに取り組んでいるところでございます。

また、全校種の教員が特別支援教育の理解を深める必要があることから、初任者、中堅教員等を対象として、特別支援教育の考え方を生かした授業づくりを学ぶ講座等を実施しているところでございます。

さらに、毎年度、計画的に、特別支援学校教諭免許状の未保有者などを対象とした、免許法認定講習を行っており、令和5年度には、延べ1,235人が単位を修得し、そのうち、小中学校の教員は延べ543人であり、通級による指導の担当教員や特別支援学級担任の専門性の向上にも取り組んでいるところでございます。

教育委員会といたしましては、引き続き、特別支援教育を担う教員の専門性の向上に取り組み、本県の特別支援教育の更なる充実を図ってまいりたいと考えております。